

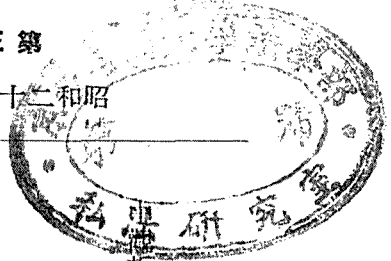
大正五年四月六日第三種郵便物認可
昭和二十二年十二月二十日印刷納本（毎月一回一日發行）

哲 學 研 究

第 三 十 一 卷 第 九 冊

第 三 百 六 十 六 號

昭和二十二年十二月三十日發行



哲學の根本的立場……………文學士 長 尾 雅 人

社會法の性格（承前）……………法學士 磯 村 哲

——近代民法と社會法——

「學問」の語義について……………文學士 木 村 俊 夫

京 都 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ設ケ
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ設ケ
- 一 委員(若干名)京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年百八十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ當合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	關原太郎
文學士	田中美知太郎
文學士	野田又夫
文學博士	久松眞一
文學博士	木田義英
文學士	松村克己
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

彙報

佛教學研究會

十月二十五日(土) 午後一時半 東方文化研究所
發起について

京都哲學會公開講演會

十月二十六日(日) 午後一時半 法經第二教室

印度美術論の宗教性 上野照夫氏
現實と歴史 三宅剛一氏

宗教學讀書會

十一月七日(金) より 黒谷 常光院
ヘーゲル 小論理學

印度・佛教學會

十一月八日(土) 午後三時 東方文化研究所
有の論理の限界 佐々木現順氏

寄贈圖書

木村素衛著 教育學の根本問題 (精神科原選書Ⅱ)

名古屋 黎明書房
定價 四〇圓

寄贈雜誌

史林(三十一ノ二) 一橋論叢(十八ノ二) 心理(一)
理想(一七四) 經濟論叢(六十一ノ二)

前 號 目 次

福音の論理(家朝)………文學士 松村 克己

美的感情についての一考察:文學士 金田 民夫
—カントの趣味論に關聯して—

人間の條件反射について………文學士 古武 彌正

會 告

- 一 本會へ入會希望者へ京都市田中西浦町弘文堂書房
内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ
送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務
へ弘文堂書房内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費へ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致ス
ベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介、新刊書・寄贈雜誌
等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學 京都哲學會
文學部内

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する
件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り
下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券五十
錢御送付下され度候

昭和二十二年十二月二十日印刷納本
昭和二十二年十二月三十日發行

編輯人 京都哲學會

京都大學文學部内

右代表者

小 田 武

發行兼 八 坂 淺 太 郎
印刷人 東京都千代田神田駿河臺四ノ四

印刷所(京都志) 弘 文 堂 印 刷 部
京都市田中西浦町四〇

配給元 日本出版配給株式會社
東京都千代田神田駿河臺四ノ九

發行所 弘 文 堂 書 房
東京都千代田神田駿河臺四ノ四

定 價		冊 數	
冊	價	冊	價
一冊	十五圓	六冊(前金)	九十圓
	金五十錢	三冊(前金)	百八十圓
	金三圓		金六圓

(誌代の變更による會費の過不足は
半年又は一年毎に精算いたします)